

グループ「中国だい好き」

ホーム 基本情報 イベント 活動紹介 問い合わせ

「中国だい好き」・ニュース -2011年7月-

中国だい好き・ニュース -2011年7月- 運営委員会 2011.7.9

義捐金は岩手県山田町の「はまなす学園」へ

5月8日の2011年総会で、義捐金の送り先については、「会員となんらかのご縁のある被災地へ顔の見えるような支援をしたい」、「具体的な支援先の選定については運営委員会に一任していただきたい」との提案が了承されました。

その後、運営委員会で検討を続けた結果、候補先に岩手県山田町の障がい者支援施設「はまなす学園」を内定。同町出身の東海林さんを通じて先方へ打診した結果、快諾を得ることができました。

会員から寄せられた義捐金=72回、72,000円は、8月のお盆に帰省する東海林さんにお託し、先方へ直接届けてもらう予定です。

なお、義捐金の納め切りを7月末日まで延長し、追加受付をいたします。直接に、あるいはお知り合いの会員を通してでもけっこうですので、ご希望の方は会計の上巣までお届けください。

「はまなす学園」とは

・社会福祉法人親和会（現理事長・山崎幸男）が1981年に開設した障がい者支援施設。
施設長・芳賀幸一。利用者数 39人。

被災から自立へ—高台に「福祉の里」を—

・3月11日、山田湾を望む海辺にあった「はまなす学園」は東日本大震災にともなう津波で壊され全焼した。職員の迅速な避難誘導で、入浴中の入所者を含め全員が裏山の高台へ、奇跡的な脱出だった。

・電気、水なく、ワンフロアに50人が足を伸ばす間もないすし詰め状態での避難所生活も1ヶ月で小学校の授業場所として明け渡す。法人が所有していた旅館への移動、寝湯舟は確保されたものの水道が使えず、職員が洗顔や歯磨き用の水を屋外からボリタンクで運ぶ。風呂は週に2回、近くの斎場を借りている。

・このような逆境のなか、社会福祉法人親和会は「自分らが町の福祉を再生させるんだ」と、高台に「はまなす学園」を始め、特別老人ホームや高齢者向け賃貸住宅、デイサービス事業所、給食センターなどを2013年までに完成させ、「福祉の里」を実現する計画を立て、力強い一步を踏み出している。

(参考=産経新聞 5/28 6/28)

